

要旨

中国語から日本語への翻訳の授業において、各種レアリアをどのように用いたかを報告し、レアリア活用の意義を考察する。書き言葉と話し言葉の相違が大きい中国語において、文字媒体のレアリアは、書き言葉を学ぶ格好の材料である。さまざまなレアリアを用いることで、学習対象言語に関わる文化事象やその背景にある考え方に多方面からアプローチでき、文の構造を正確に把握した上で、使用場面や目的、読み手などに留意して翻訳することの重要性をより実感させることができる。

1. はじめに

レアリア“realia”とは、教育の補助として使われる「本当の物」（教育のためにわざわざ作られたものではないもの）のことで、「事物」「本当の（もの）」を指すラテン語の *realis* の中性複数形である¹⁾。レアリアは言語教育の現場で広く用いられ、筆者自身も様々な授業で活用しているが、翻訳の授業の中で各種レアリアをどのように用いたかを報告し、レアリア活用の意義をまとめてみたい。

ヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）では、第4章4節で「コミュニケーション言語活動」（communicative language activities）を次の5つにわけて詳述している。

- ・ 産出活動 (productive activities) : 話す・書く
- ・ 受容的活動 (receptive activities) : 読む・聞く
- ・ 相互行為活動 (interactive activities) : 口頭のやり取り・書かれた言葉でのやり取り・伝達手段を複合的に用いる対面のやり取り・人間と機械のコミュニケーション

- ・ 仲介活動 (mediating activities) : 話し言葉での仲介 (通訳) ・ 書き言葉での仲介 (翻訳ならびに要約の翻訳 ・ 書き換え)
- ・ 非言語コミュニケーション (Non-verbal communication) : 非言語行為 ・ パラ言語

染谷他 2013 によれば、「CEFR によって通訳翻訳を含む『仲介活動』がコミュニケーションのための正当な言語活動として初めて位置づけられ、学習者が修得すべき技能として明確に規定されたことになる。」また、「翻訳や通訳は『言語的に埋め込まれた意味』に加え、しばしばこれを超えた『言語外の意味』を回復する必要に迫られる作業であり、その意味で必然的に『メタ言語能力』(＝言語および言語使用について客観的に振り返り、分析する力) が要求される作業である」(染谷 2010)。グローバル化が進み、多言語多文化が共生する社会において、仲介能力はますます求められていくであろうし、『メタ言語能力』の養成も重要である。文学作品に限らず、様々な素材を扱うことで、翻訳作業そのものを楽しみつつ、「翻訳とは何か」との問いに学習者一人ひとりが答えられるような授業を目指している。

2. 翻訳教材としてのレアリア

2-1. 「中国語翻訳法Ⅱ」で扱ってきたレアリア

本学アジア言語学科中国語専攻では、3・4 年次選択必修の地域言語科目として、「中国語表現法Ⅰ/Ⅱ」、「中国語翻訳法Ⅰ/Ⅱ」、「討論・スピーチⅠ/Ⅱ」、「中国文学講読Ⅰ/Ⅱ」、「時事中国語Ⅰ/Ⅱ」の5分野 10 科目を開講している。筆者は 2008 年より「中国語翻訳法Ⅱ」(中国語から日本語への翻訳。翻訳法Ⅰはその逆)を担当、シラバスには授業の目的・内容として以下のように掲げている。

「この授業は、さまざまなジャンル・文体の中国語に触れ、それぞれに固有の様式・語彙についての理解を深めながら、さらにそれらを自然な日本語に訳す力を身につけることを目的とします。授業は各自が用意した訳例を持ち寄り、

その発表・検討を通して進めていきます。ことばはそれを用いる人々の思考法やそれが用いられる社会の文化を反映します。ですから、あることばを別のことばに置き換えることは、語彙や文法を正確に把握すること以上の作業となります。翻訳を通して、中国語、日本語それぞれのものとのとらえ方の特徴についても考える機会を持ちたいと思います。」

中国語の初級文法を学び終えた学習者の力を伸ばすために、また他の科目と扱う内容が重複せず、学習領域を広げるためには、どのようなテキストを翻訳したらよいかと考え、これまで以下のようなレアリアを教材として取り上げてきた。

グリーティングカード(誕生日・クリスマス・年賀状) / 招待状 / 写真や図版のキャプション / 看板 / 案内表示 / 通知 / 広告 (新聞や雑誌の企業広告等、新聞の求人、売ります・買います欄等) / 料理のレシピ / 医薬品や食品のパッケージ / 電化製品のマニュアル / ゲームの説明書 / 観光地・名所旧跡等のパンフレット / 掌編小説 / 女性雑誌のファッション紹介・十二星座占い / ブログ / 歌詞 / 絵本 / 漫画(サザエさん、ドラえもん等の中国語版を原作の日本語と比較) / 新聞(ニュース記事、スポーツ・芸能欄、社会面・投稿欄) / 映画(“洗澡”)の字幕 / インタビュー記事 / エッセイ(謝冰心) / 手紙(“留守児童”:親が都市部に出稼ぎに行き、祖父母等に育てられている子供が親に宛てた手紙、巴金が日本の友人に出した手紙) / 日本文化の紹介文

2-2. 翻訳教材として、各種レアリアを用いる理由

レアリアを活用することの意義として、広く認識されているのは以下のような点である(国際交流基金 2006:3 頁)。

- ・ そのものに含まれている文化やその国の事情を伝えることができる。
- ・ ロールプレイなどで利用すれば、より臨場感を持たせることができ、現実との接点を持たせることができる。

- ・ ことばへの興味を引き出したり、既にある興味を持続させたりする、いわゆる動機付けとなる。

上記の三点に加えて、筆者は以下のような理由から前述のようなレアリアを翻訳教材として扱っている。

- ・ 料理のレシピや医薬品の説明書など、実生活に役立てる「実用リーディング」として（「時事中国語」で扱う新聞や「文学講読」で扱う小説等とのすみわけもかねて）。
- ・ 文化事象やその背景を考察し、学習者の中国理解、中国語理解を深めるとともに、日本にある同じモノとの比較や日本語への翻訳を通して、自国の文化や言語を捉え直し、理解を深める。
- ・ 文字媒体のレアリアは、書き言葉を学ぶ格好の材料である。中国語の場合、書き言葉と話し言葉の違いは大きく、初級から中級、上級へとレベルアップしていくには、書き言葉への習熟が欠かせない。また、街中のさまざまな案内表示や看板、広告などからは、漢字の持つ造語力を窺い知ることができる²⁾。

ことばが伝える情報・メッセージを正確に把握するためには、まず第一に文の構造を正しく理解することが不可欠であるが、同時に、それらが実際に使用される場面や使用目的も考えなくてはならない。授業では毎回違うジャンルのレアリアを教材とし、それぞれの特徴をつかんだ上で翻訳に取り組むよう指導しているが、先に挙げたような各種レアリアは、実際の使用場面や目的をわかりやすく示すことができるという利点がある。また、翻訳する際には読み手を想定してふさわしい言葉遣いや文体を選ぶことも重要となるが、食品パッケージや絵本等の「実物」に触れることで、それを手に取る読み手の感覚や目線を想像しやすいと考える。

2-3. 実物に触れることの重要性

CEFRでは、A1からC2まで学習行程を6段階に分けて提示しているが、「共通参照レベル:自己評価表」(第3章表2)の「理解すること(読むこと)」の能力記述は、次のようになっている。

参照レベル	理解すること(読むこと)
C2(一番上)	抽象的で、構造的にも言語的にも複雑な、例えばマニュアルや専門の記事、文学作品のテキストなど、事実上あらゆる形式で書かれた言葉を容易に読むことができる。
C1	長い複雑な事実に基づくテキストや文学テキストを、文体の違いを認識しながら理解できる。自分の関連外の分野での専門の記事も長い、技術的説明書も理解できる。
B2	筆者の姿勢や視点が出ている現代の問題についての記事や報告が読める。現代文学の散文は読める。
B1	非常によく使われる日常言語や、自分の仕事関連の言葉で書かれたテキストなら理解できる。起こったこと、感情、希望が表現されている私信を理解できる。
A2	ごく短い簡単なテキストなら理解できる。広告や内容紹介のパンフレット、メニュー、予定表のようなものの中から日常の単純な具体的に予測がつく情報を取り出せる。簡単に短い個人的な手紙は理解できる。
A1	例えば、掲示やポスター、カタログの中のよく知っている名前、単語、単純な文を理解できる。

2012年3月には英語到達度指標CEFR-Jが公開され、翌2013年3月には文部科学省初等中等教育局も「各中・高等学校の外国語教育における『CAN-DOリスト』の形で学習到達目標設定のための手引き」を公表した。一方、筆者ら中国語教員も『外国語学習のめやす 高等学校の中国語と韓国語教育からの提言』（2012・公益財団法人国際文化フォーラム編）で、15の話題分野・4段階のレベル別のコミュニケーション能力Can-do指標を作成した。これらはすべてCEFRの「行動中心主義」を受けた流れである。

Can-do指標で示された能力を評価するには、実物に触れることが不可欠である。つまり、本物の英字新聞を見ずに「英字新聞が読める」とはいえない。根岸2008では、韓国の高校生は「英字新聞」「テレビ・ラジオの英語ニュース」「ペーパーバック」「英語のウェブ・ページ」などの経験率が70～80%であるのに対し、日本人高校生は20%前後と低いという調査結果を示し、英語を実際に使った経験が限られている学習者による自己評価の精度はあまり高いものが期待できない、と述べている。

中国語において、先に引用したCEFRのこのレベル別能力記述が妥当であるかどうかの検証は今後の課題とするが(話し言葉中心に学ぶ初級学習者にとって、書き言葉で書かれた掲示やポスター、カタログを理解するのは容易ではない)、実際の生活の中で使われている中国語に触れさせる機会は、やはりもっと積極的に作っていくべきではないだろうか。

通訳・翻訳といった仲介能力について、CEFRではこの表のような「使うことのできる例示的尺度は現段階では存在しない」としているが、まずは、読む・聞くといった受動的活動において、実物に触れ、リアルな学びができるよう工夫したい。そして、それらを「見て／聞いて分かる」にとどまらず、「通訳・翻訳する」仲介活動へとつなげていきたいと考える。

3. 授業実践例

筆者がこれまで翻訳の授業で取り上げたレアリアには、どのような意図、着眼点があるのか、以下、いくつか具体的に紹介する。

3-1. 歌詞

【歌詞1】張善為という歌手が、森山直太朗の「さくら（独唱）」を《真夏の櫻花》（真夏の桜）というタイトルでカバーしている。この歌詞をすべて日本語に訳し、原曲の日本語と比較。歌の内容をふまえた上で、タイトルになぜ「真夏の」が入っているのか考えさせた。中国語バージョンでは友人たちとの別れを歌った曲になっているが、中国では9月が新学期で夏は別れの季節である。

【歌詞2】2014年大ヒットしたディズニー映画「アナと雪の女王」の主題歌“Let it go”の中国語版《随它吧》を日本語に訳し、日本語版『ありのままに』やオリジナルの英語版と比較。中国語版の方がオリジナルに近いこと、歌詞は音符にのせなくてはならないので、単に意味だけを考えて訳せないこと、アニメーションの口の形に合わせるといった工夫もされていることを紹介。さらに、YouTube上にアップされている25カ国語版の“Let it go”を聴き、翻訳とは何か、翻訳の持つ力について考える。なお、台湾版のタイトルは《随它吧》ではなく《放开手》、歌詞全体も異なっていることにも触れた。

3-2. 食品パッケージ

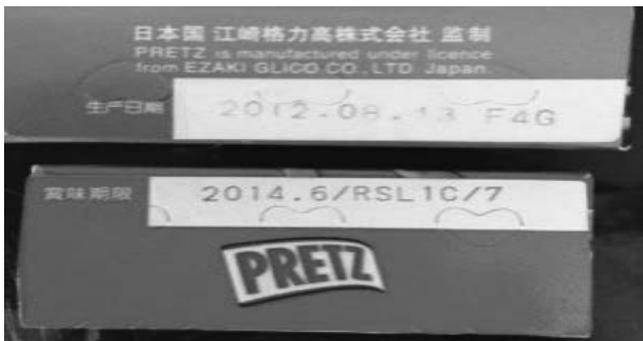
【パッケージ1：お菓子の分類】江崎グリコのポッキーは“装飾饼干”、コロンは“注心饼干”、ロッテのコアラのマーチは“夹心饼干”とすべて“饼干”（ビスケット）に分類されているが、それぞれ日本ではどのようにカテゴリー分けされているのかを調べ（ポッキーとコアラのマーチはチョコレート菓子、コロンは焼き菓子・ビスケット）、中国語では、チョコレートや中のクリームの状態によって、“装飾”（周りをコーティングする），“注心”（中心に注ぎ込む），“夹心”（間に挟む）と細かく分類していることに注目させた。



【パッケージ2：商品名や企業名】日清食品のカップヌードルは最近“开杯乐”から“合味道”へと名称変更した。外来語の翻訳方法について復習するとともに、商品名のネーミングではどのような点を重視し、どんな点に注意しているか考察する。サントリー“三得利”、ソニー“索尼”、グリコ“格力高”など、企業名の翻訳についてもあわせて考える。

【パッケージ3：賞味期限は“生产日期”と“保质期”から計算】

一般に中国の食品には「賞味期限」ではなく「製造年月日」が書かれていることなど、食品表示の違いにも注目する。下の写真は江崎グリコのプリッツの箱の表示である。（上が中国、下が日本のもの）



【パッケージ4：カップ麺の作り方】



上の写真は中国で製造された日清食品のカップヌードルの容器である。側面に書かれた作り方の中に“加饮水机热水”（ウォーターサーバーのお湯を加える）とある。辞書には載っていない“饮水机”をどう訳したらよいか、検索方法を考えさせた。（→中国の検索エンジン“百度”で画像検索し、どのようなものがわかったら、それを日本ではどのように呼んでいるか、商品CMなども思い出しながら考え、その訳語をGoogle画像検索にかけて一致するかみる。）また、“微波加热法”（電子レンジ加熱法）とあるように、このカップ麺は電子レンジにいれて加熱することができること、エネルギー量はカロリーでなくジュール（“千焦”）という単位で表記されていること、といった日本との違いや、“小心烫伤”（やけどに注意）、“注意串味”（移り香注意）といった注意を呼びかける表現の違いなどにも注目させた。

3-3. 新聞記事



【スポーツ欄】

北京で広く読まれている《北京晩報》という夕刊に大きく取り上げられていた、日本女子サッカー選手・澤穂希さんの記事（2011年7月19日「サッカーのために愛を犠牲に」）を翻訳した。最近では“锦织圭上演现实版网球王子”（锦織圭は現代版「テニスの王子様」だ³⁾。2014/9/7 17:15 中国广播网）等とテニスの錦織選手のことが多く報道されている。中国で日本人選手の活躍が報じられている一方、日本では中国のスポーツ選手についてほとんど取り上げられていないことから、日中双方の報道についても考える機会とした。

【台湾の新聞】

繁体字で書かれた新聞を読み、台湾の中華民国暦について触れるとともに、「子どもを育てるお金は誰が出す？」という家庭欄の記事を読み、その内容についてディスカッションをした。“养小孩的钱”を「養育費」と訳す学習者が多かったが、「養育費」と「教育費」という語の意味の違いについて考えた。



【四川大地震のときの大連日報】

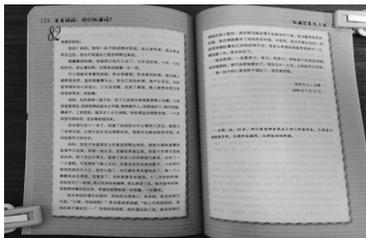
2008年四川大地震の際に、負傷者は中国各地の病院に搬送された。《大連日報》(2008.5.28)にはその時の模様が大きな写真つきで第1面に掲載されている。見出しには“103名灾区伤员昨分批来连救治”と書かれているが、“昨天”(昨日)が“昨”、“大連”(大連)が“连”、「いくつかのグループに分かれて」を“分批”と表現していることに注目させた。また、本文中には救護用の担架：スクープストレッチャー(“铲式担架”)についても書かれているが、この語は一般的な辞書には載っていないので、先の“饮水机”同様、画像検索した上でその適切な訳語を調べ出さなくてはならない。



3-4. 手紙

親が都市部に出稼ぎに行き、農村部で祖父母等に育てられている子どもが親に宛てて書いた手紙を集めた書籍《爸爸妈妈，你们知道吗？-农村留守儿童书信集》[お父さん、お母さん、あなたたちは知っていますか] (叶敬忠・吴惠芳主编 2010 社会科学文献出版社) から、小学6年生の女の子の手紙を翻訳した。同時に、“留守儿童”問題について報じた朝日新聞の記事(2011年11月6日・国

際面)も配布。中国の社会問題について学ぶ機会とした。実際、この授業で取り上げられるまで知らなかったという学生が毎年数名いる。



3-5. 北京“南锣鼓巷”のスタンプブック

最後に、実物に触れることの重要性を検証するための仕掛けを作った、ある授業の流れを少し詳しく記してみたい。

北京の“南锣鼓巷”（南鑼鼓巷）は、南北 800mほどの通りに古い住宅を改造したカフェやショップ、レストランが並び、北京在住の外国人や若者、観光客などでにぎわうストリートである。1999年、北京の伝統的な“四合院”を改装した“过客”（過客）というカフェ&バーのオープンをきっかけに、多くの個性的な店が並び始め、2012年12月末には地下鉄6号線の“南鑼鼓巷”駅が開通、多くの観光客が訪れる通りとなった。

筆者が2014年2月に訪れた際には、この通りの“創可貼8”（創可貼8・英

語名は plastered) という T シャツショップで、南鑼鼓巷のスタンプブックが販売されていた。各店舗のカラー写真と簡単な説明文をページ毎に掲載、その余白にスタンプが押せるようになっており、手の平サイズの可愛らしいデザインである。このストリートの雰囲気伝えるために、ビデオ撮影もしておいた。



【授業の流れ】

授業は以下の手順で進めた(2014年7月4日・中国語専攻3・4年19名出席)

予習: 各店舗の説明文(白黒写真つき)を1人2ショップずつ事前に配布、各自翻訳。この時点では、これが南鑼鼓巷のスタンプラリーブック(全40店舗掲載)の一部であることは伝えない。

授業: 2人1組で、各自が翻訳した各ショップの説明文と原文を対照しながら、ペアの相手とともに、よりわかりやすく自然な日本語に整えた。その際、クラスを以下の3つのグループに分けた。

- A) 最後までこの説明文の出典を明かさない。
- B) ペアでの作業をする前に、スタンプブックの実物を見せ、南鑼鼓巷の各店舗の説明文であることを伝える。
- C) ペアでの作業をする前に、スタンプブックの実物を見せ、さらに南鑼鼓巷の様子を映した映像を見せる。

最後に、出来上がった各ペアの翻訳をクラスで発表し討論する予定であったが、ペアでの議論・修正に時間がかかり、その時間が十分には取れなかった。

【翻訳例①学習者 F】（下線や囲みは筆者）

原文： 3A07 逆愛杯子蛋糕 环境没得说，甜品没得说，饮品更没得说，各种各样的完美！

個人での翻訳： 逆さまの愛カップケーキ 環境文句なし、ケーキ文句なし、飲み物文句なし、いろんなところが完璧。

ペアで修正後の翻訳： 愛を迎えるカップケーキ 雰囲気、ケーキ、飲み物、すべて文句なし。 いろんなところ全てが完璧だ！



【学習者 F の翻訳例の考察】

店名の“3A07”は“LOVE”を逆さにしたものであることは、写真だけでなく中国の検索エンジン“百度”で次のように書かれていることからわかる。

‘3A07’是什么意思？→反过来看。就是 LOVE 的意思。把 3A07 逆时针旋转 180 度就知道了。

(<http://zhidao.baidu.com/link?url=EWN3S14L1DfJ0gba44gXW-FiQQwfZCmTcmm0EgpWA4dbXarqIoCpPLGPY9eQGhhtv6r8qSQ0RF2NSWRww-m21K>)

学習者 F が“逆”に「迎える、受ける」という書面語としての意味があることに気づき、店名として「逆さまの愛」よりも「愛を迎える」のほうがよいと判断した結果、ペアでの訳は「逆さまの愛カップケーキ」から「愛を迎えるカップケーキ」に変えたようである。

ところが、2012年2月10日の“中国经济网”によれば、“逆愛”は“溺愛”と音が同じである（nǐ'ài）ところからとったものであり、「男性が女性を甘やかし、溺愛する」という意味がこめられ、香港映画の『志明と春嬌』の中の逆さ文字ショートメールを思い出させるものらしい。学習者はここまで調べきれてはいなかった。

=====

倒过来的LOVE 逆爱

3A07 逆爱是两个年轻人为自己的蛋糕店所取的名字,3A07 倒过来便是 LOVE,寓意是男生应该惯着女孩,以“溺爱”的谐音取名为逆爱,爱是世界最美好的东西。女孩喜欢的东西,男孩其实应该更谦让,让女孩在爱中成长。这个倒过来的名字非常有意思让我想到彭浩翔导演的《志明与春娇》里那条倒过来的“Imissu”的短信。爱情和甜品,似乎有天生在一起的味道。

(<http://roll.sohu.com/20120210/n334367586.shtml>)

=====

【翻訳例②学習者 S】

原文：[文字奶酪] 文字奶酪店可谓南锣鼓的神店，不管什么时候去，不是排大队，就是卖完了。他家的奶酪胜在清透，入口很滑，冰凉凉的，一到嘴里就化开了，还能吃出些淡淡的酒酿味。

個人での翻訳：[文字奶酪] 文字奶酪は南鑼鼓巷の超人気店といっても過言ではない。いつ行っても、長い行列ができているか、売り切れているのだ。このチーズは……口あたり滑らかで、氷のように冷たい。口の中で溶けると、薄い甘酒の風味を味わえる。

ペアで修正後の翻訳：[文字奶酪] 文字奶酪は南鑼鼓巷の超人気店といっても過言ではない。いつ行っても、長い行列ができているか、売り切れているのだ。このミルクプリンの売りは、すきとおっていて、口あたり滑らかで、氷のように冷たい。口に入れた瞬間溶け、薄い甘酒の風味を味わえる。



【学習者 S の翻訳例の考察】

学習者 S はこの店の看板メニュー“原味奶酪”がどのようなものであるかわからず、どう訳すべきかずっと悩んでいた。“奶酪”は《現代汉语词典》第 6 版によれば“用牛、羊等的奶汁做成的半凝固食品”(牛や羊の乳でつくった半凝固状態の食品)であり、小学館の『中日辞典』第 2 版では、「1. ヨーグルトの一種。2. チーズ」と書かれている。“百度”で画像検索するとヨーグルトにもみえるが、実際に食べた人のレポートでは以下のように「ミルクプリン」と書かれていた。そこで、学習者 S は、辞書の語釈よりも実際に食べた人の感覚を信頼して「ミルクプリン」と訳している。筆者自身も食べたことがあるが、まさに「ヨーグルト風味のプリン」であったことを伝えた。

=====

トリップアドバイザー：“名物のミルクプリン”（2014/05/09の投稿）

文字奶酪 行列ができているミルクプリン屋。奶酪とは辞書で引くと「ヨーグルト」のことだが、ヨーグルトとはちょっと違う。酸味がほとんどなく、ゼラチンで固めたような食感。“原味奶酪”（シンプルな原味）“红豆双皮奶”（小豆トッピング）を食べたけど、小豆の方がおいしかった。

http://www.tripadvisor.jp/Attraction_Review-g294212-d1210024-Reviews-Wenyu_Cheese_Shop-Beijing.html

=====

【授業アンケート】

A・B・C どのグループにも最終的には実物（スタンプブック）と映像（筆者が歩きながら撮影した“南鑼鼓巷”の様子）を見せ、翻訳作品提出時に以下の

ようなアンケートをとった。

- 1) 実物を見て翻訳の参考になりましたか。参考になった点は何ですか。
- 2) 映像を見て翻訳の参考になりましたか。参考になった点は何ですか。

各質問に対する学習者の回答は以下の通りである（原文ママ。わかりにくいところのみ括弧付きで補足。各回答の冒頭の英字は所属グループ。数字は同じ回答をした人数。下線は筆者。）

- 1) 参考になった：14人／特にならなかった：3人／無回答：2人
 - A 色が入ってわかりやすくなった／色が参考になった。(2人)
 - A 参考になった。どんなものかわかったほうが、「だ／です」とかの語気にも注意しながらできるから。
 - A カラーでみると建物の古さが伝わった。／B 店の雰囲気がよくわかった。
(2人)
 - C 対象としている人がどんな人に向けて言っているのかがわかった方がやりやすかったです。
- 2) 参考になった：9人／特にならなかった：4人／無回答・その他：6人
 - A 本や映像を見ると雰囲気がわかりやすかった。
 - A 店の雰囲気とかもわかり、結果それが訳にも関わったと思う。
 - A 音が入ることで雰囲気が伝わった。
 - B 映像を見ても特に変わりはありません。(2人)
 - B その場所の実際の雰囲気がわかることで、言い回しや、どういったお店の雰囲気かの説明に役立つような気がした。
 - C 映像を見ることで誰に対してどのような訳をすればよいか、具体的にイメージしやすく、多少助けになった。

【アンケート結果の考察】

翻訳素材の実物や映像が翻訳の際に役立ったと多くの学習者が述べているが、逆にいえば、実物や映像を翻訳の際の参考にし、翻訳に活かそうとした学習者の姿勢がうかがえる。色や建物の古さだけではなく、映像からはその音も拾って、スタンプブックに描かれたこの通りの雰囲気をつかもうとしている。

4. まとめ

以上、翻訳の授業で扱ってきたレアリアについて、その一部を紹介したが、最後にレアリア活用の意義についてまとめておきたい。

1) 学習者のニーズ、興味・関心に沿った素材で動機付けに役立つ。

→中でも、映画の字幕、歌詞、漫画は毎年人気がある。

2) 中国社会で起きている問題や歴史、文化、習慣を学ぶことができる。

→新聞、写真のキャプション、“留守児童”が親に宛てた手紙等。

3) 手書きの文字や繁体字に触れることができる。

→巴金の手書きの手紙、台湾の新聞や小説。

4) テキストを題材にしたディスカッションができる。

→新聞(子どもの教育費)、ブログ(川端康成や村上春樹のキーワードとは)

5) 素材に特有の語彙や表現を学ぶことができる。

→料理のレシピ、食品パッケージ、新聞、星占い、求人広告、グリーティングカード(手紙文)、ゲームの説明書等

6) 訳語の調べ方も含めて、新語や専門用語を学ぶことができる。

→広告や薬の説明書、電化製品のマニュアル、食品パッケージ、新聞等。

7) 読み手を考えた翻訳の重要性を意識させることができる。

→絵本、映画の字幕(字数制限やキャラ設定、映像と文字のコラボ)等。

8) 書き言葉と話し言葉の違いを学ぶことができる。

→書き言葉：新聞、看板・広告、料理のレシピ、グリーティングカード等

話し言葉：インタビュー記事等

また、毎回、違うレアリアを扱う利点として、以下の点が挙げられる。

タイムリーな話題を差し込みやすい／それぞれの使用目的や使用場面を考え、特徴を捉えた翻訳がしやすい（写真のキャプションは簡潔に、絵本は子供向けの言葉遣いで、等）／多様な個人の好み・ニーズに沿える／教科書で学んだ文法項目や語彙の実際の使われ方を多方面から見ることができ、定着に役立つ等。

翻訳の授業であるから、武吉次朗 2007『日中中日翻訳必携』（日本僑報社）で挙げられているような翻訳の際の7つのテクニック（倒訳・分訳・合訳・変訳・加訳・減訳・反訳）をふまえること、人称代名詞をそのままにしないこと、といった技術的なことも様々教えているが、本稿では、なぜ各種レアリアを翻訳教材とするのか、その意義に絞って考察を試みた。

當作 2005 に、「言語を効果的に教えるためには文化は不可欠な要素であるが、実際にクラスで最適な方法で文化が教えられるまでにはまだまだ第二言語習得のプロセスの研究が必要であるし、効果的な教材の開発、文化を効果的に教えられる教師の養成、研修など教育界がかかえる課題は多い。」とある。四技能のトレーニング中心の授業の中で文化をどのように効果的に取り入れるか、各種レアリアを用いた翻訳の授業を通して、この課題にも取り組んでいきたい。

注

- 1) 国際交流基金 2006.3 頁。その「本当のもの」に含まれている情報に注目して利用する時には「生教材」と言って区別することもあるが、本稿では生教材として使う実物素材全般を「レアリア」と呼ぶ。
- 2) 荒川 2009「中国人にとって、文字にする中国語は話しことばと同じであってはいけないのだ」(208 頁)、荒川 2014「“售”は話し言葉では単語として使えない。しかし、ことばをつくる力-造語力はばかにならない」(66 頁)。

- 3) 「テニスの王子様」は週刊『少年ジャンプ』に連載され、2006年映画化された人気漫画で、中国では2008年同タイトルのテレビドラマも作られた。

参考文献

- 荒川清秀 2009.『中国語を歩く 辞書と街角の考現学』/2014.『中国語を歩く 辞書と街角の考現学 パート2』東方書店。
- 国際交流基金 2006.『すぐに使える「レアリア・生教材」アイデア帖』スリーエーネットワーク。
- 染谷泰正 2010.「大学における翻訳教育の位置づけとその目標」、『外国語教育研究』(関西大学外国語学部紀要第3号): 73-102頁。
- 染谷泰正・河原清志・山本成代 2013.「英語教育における翻訳(TILT:Translation and Interpreting in Language Teaching)の意義と位置づけ」、『語学教育エキスポ 2013 予稿集』: 27-30頁。
- 當作靖彦 2005.「外国語教育における文化の役割」、『シリーズ言語学と言語教育第4巻: 言語教育の新展開』: 261-273頁。ひつじ書房。
- 中西千香 2014.中国語教育学会研究会報告「レアリアのツボ、レアリアのチカラ～レアリアで学ぶ、教える中国語のために～」、『東方』395号(2014年1月): 8-13頁。東方書店。
- 根岸雅史 2008.「CEFRの日本人学習者への適応可能性」,明海大学大学院応用言語学研究科紀要『応用言語学研究』10巻, 45-54頁。
- 吉島茂、大橋理枝ほか訳 2008.『外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠』(Common European Framework of Reference for Languages: Learning, teaching, assessment)。朝日出版社。
- 公益財団法人国際文化フォーラム編 2012『外国語学習のめやす 高等学校の中国語と韓国語教育からの提言』